

# 岡山市における歯科健康教育事業参加者の現状

岡山市保健所保健課 ○澤谷 紀子 河本 幸子 妹尾 裕美 藤田 幸子

## <目的>

岡山市保健所では、老人保健法に基づき、40歳以上の人およびその家族を対象に健康教育事業を実施している。今回、そのうち歯科健康教育事業参加者の特徴を明らかにするためにアンケート調査を行ったので報告する。

## <対象>

岡山市保健所で実施している歯科健康教育事業のうち、地区における健康教育6回、栄養教室6回、栄養改善協議会2回、愛育委員協議会1回の合計15回の参加者を対象とした。

## <結果>

参加者は合計470人（男性16人、女性454人）であった。

年齢分布は、40歳未満8人、40歳代50人、50歳代140人、60歳代195人、70歳代43人、80歳以上1人、未記入33人であり、50・60歳代の参加者が約71.3%を占めていた。

歯磨きについて、未記入を除く全員が毎日行っており、朝食後あるいは就寝前に磨くと答えた人が多かった。また、ほとんどの者が普通の歯ブラシを使用していると答えていた。

また、歯間部清掃器具を使用していると答えた人は261人（55.5%）だった。歯間ブラシを使用している人が169人、次いでデンタルフロス・糸（付）ようじ124人、水流式口腔洗浄器8人、歯間刺激

子5人であった。

過去1年間に歯磨き指導を受けたことがある者は227人（48.3%）であった。指導を受けた場所は、歯科診療所・病院歯科が210人、保健所・保健センター等は12人、その他10人で、職場・自宅・学校と答えた者はいなかった。

過去1年間に歯科健康診査を受けたことがある者は232人（49.4%）で、健診を受けた場所は、歯科診療所・病院歯科が227人、保健所・保健センター等は2人、学校は2人、その他3人、職場・自宅と答えた者はいなかった。

## <考察>

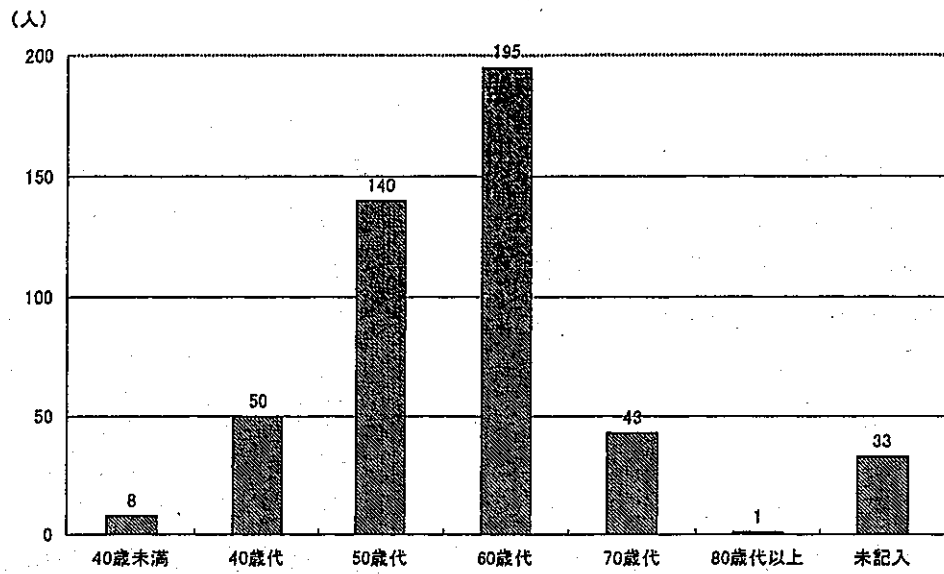
今回の結果から、本市の歯科健康教育事業の参加者は、50・60歳代の女性が多く、また、歯間部清掃用器具を使用している者が半数以上おり、過去1年以内に歯磨き指導や歯科健康診査を受けたことがある者も約半数を占めている。このことから、望ましい歯科保健行動をとっている人が多かったといえる。

本市で実施した歯周疾患検診の結果では、40歳で歯肉が健康な人は、約5%であった。また、現在歯数は50歳代から急速に減少することからも、歯が抜ける前の40歳代からの歯科疾患予防対策が必要である。

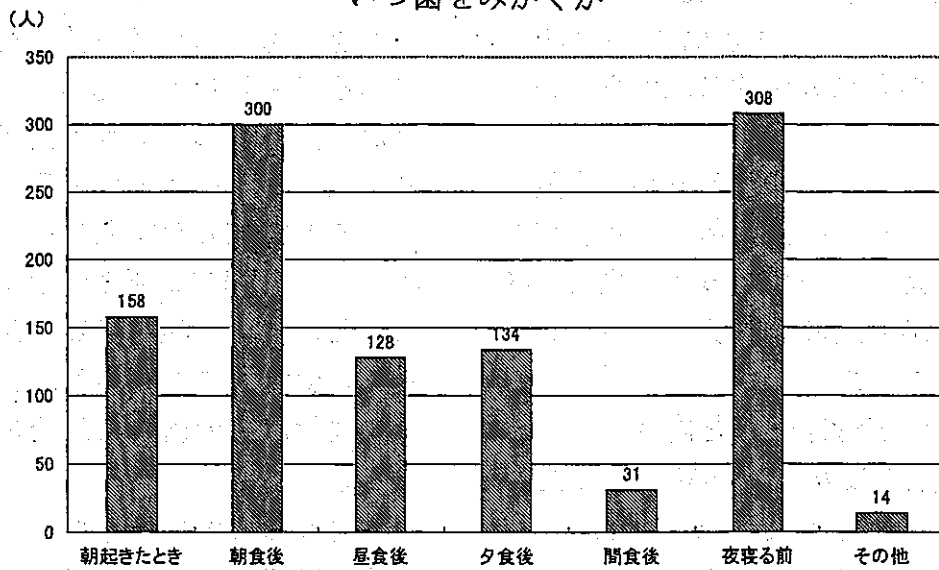
今回の結果から、今後は、40歳代と男性が参加できるような事業を展開する必要性が明らかとなった。

日本プライマリ・ケア学会第8回岡山県支部会 平成13年 3月10日 発表者 澤谷紀子

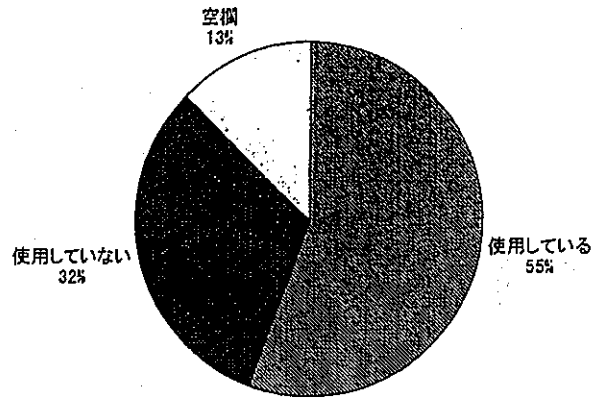
### 参加者の年齢



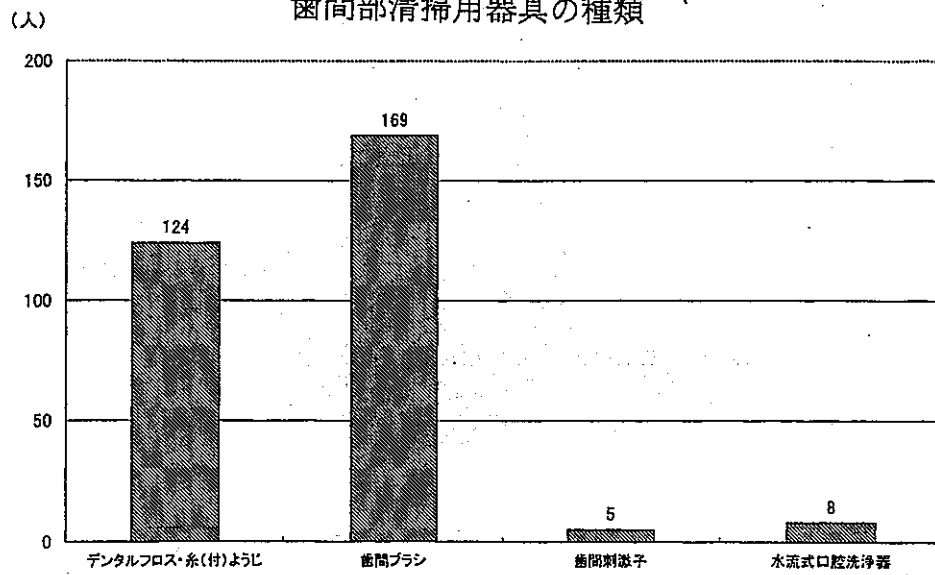
### いつ歯をみがくか



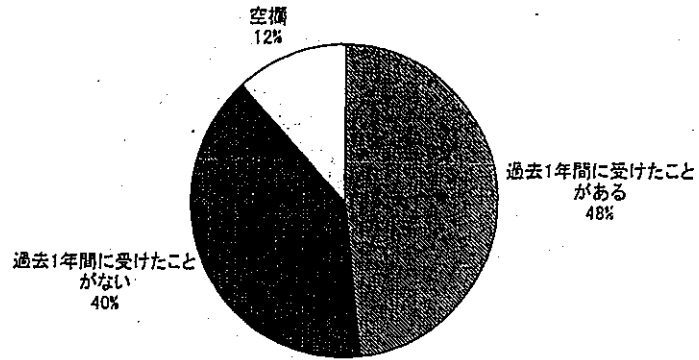
### 歯間部清掃用器具の使用の有無



### 歯間部清掃用器具の種類



### 歯磨き指導



### 歯科健康診査

